

公立大学法人山形県立保健医療大学中期計画（第3期）の概要

中期計画の期間 令和3年4月1日～令和9年3月31日（6年間）

<教育活動>

(1) 優秀な学生の確保

- 入試状況、入学後の学修状況・成績等の調査分析（IR）による、選抜方法や科目など入試全般についての改善・見直し
- 本学の特色や優位性の情報発信の拡大
- 社会人や遠隔地の履修者も履修しやすい学習環境の提供（特に大学院教育）
- 高校生への医療専門職の魅力の発信による保健・医療分野への意識付け及び将来的な人材の確保に向けた小中学生に魅力を伝える取組の推進【新規】

(2) 教育実施体制の充実

- ICTやシミュレーター等を活用した、より効果的な授業の実施
- 社会人や遠隔地の履修者も履修しやすい学習環境の提供（特に大学院教育）【再掲】
- 学修や教育成果に関する情報の把握・測定、見直しによる教育方法の改善・質の向上に資する教
学マネジメントの確立
- 本学の特色を活かした多職種連携（チーム医療）教育の更なる展開

(3) 県内定着の促進及びキャリア支援の充実

- キャリア形成についての早期の意識付け、学生の志向に応じたきめ細かい就職情報の提供や相談・指導及びキャリア支援センター機能の強化・拡充による県内定着の促進
- 地域課題についての授業の推進、県内医療機関・施設関係者等との交流や連携強化等による県内医療機関等に対する就職意識の醸成、これら機関のニーズを踏まえた人材の育成
- 卒業後のリカレント教育プログラムや研究相談支援などキャリアアップに対する支援及び県外就職者への情報提供強化によるU・Iターンの促進

【数値目標1】

看護師、保健師、助産師、理学療法士及び作業療法士の国家試験合格率について、全国合格率以上を確保し、100%の合格率を目指す。

【数値目標2】

就職希望者の就職率100%を目指す。

【数値目標3】

入学時の県内出身者率と同程度の県内定着率を目指す。

(4) リカレント教育の充実、新たなニーズへの対応

- 地域の医療関係者へのリカレント教育の充実・強化
- 高度化・専門分化が進む保健・医療・福祉現場に対応する高度専門資格を持つ看護師の養成

(5) 国際交流の推進

- 国際交流事業の拡充、留学・学会等を通じた海外研究者との連携・交流の強化、学生の国際感覚の醸成
- 新たな国際交流先の確保及び外国人留学生や研究者の受入れについての検討

<研究活動>

- 行政機関、民間企業との共同研究・受託研究の推進
- 研究におけるニーズとシーズのマッチング機能及びコーディネート機能の強化
- 外部研究資金の更なる獲得に向けた研修や支援体制の充実
- 研究成果の積極的な公表・情報発信による研究活動の「見える化」、研究水準の更なる向上

【数値目標4】

外部研究費等への申請件数が、直近3年間の平均値を上回ることを目指す。

<地域貢献>

- 保健医療・福祉分野の地域課題解決や行政施策への協力による教育研究成果の地域還元
- 地域の医療関係者へのリカレント教育の充実・強化【再掲】
- 公開講座等による県民が生涯を通じて学べる多様な機会の創出

<戦略的な大学運営>

(1) マネジメントの充実・強化

- 理事長（兼）学長がリーダーシップをより発揮できる執行体制の強化と社会の変化やニーズを的確に把握した持続可能かつ戦略的な運営
- FD及びSDの実施による教職員の教育・研究能力の充実及び更なる活性化
- マネジメントの強化によるワーク・ライフ・バランスの推進、事務の簡素化・合理化

(2) 社会・環境の変化に応じた不断の見直し、自己点検・評価の充実

- 将来展望を見据えた教育研究組織、学部・研究科等の在り方などの不断の見直し
- 法人運営や教育研究活動に係る適切な自己点検・評価の実施及び内部質保証の充実

(3) 弾力的な予算編成・執行、基金創設

- 重点化枠を設けるなど弾力的な予算編成・執行及び新たな収入源についての検討
- 新たな基金の創設による施設整備、研究活動、地域貢献及び学生支援の充実【新規】

【数値目標5】

管理的経費について、効率的な執行に取り組むことにより毎年1.0%以上の節減を目指す。

(4) 情報発信の強化

- 本学の特色や優位性についての情報発信の拡大【再掲】
- 各種媒体を活用した広報活動の充実強化による国内外への本学の特色・魅力の発信

(5) 危機管理対応の強化

- 災害や感染症対策等、危機管理体制の充実強化及び情報資産のセキュリティ確保

(6) SDGsの推進

- 教育・研究活動及び大学運営全般におけるSDGsへの取組の推進【新規】